

## 「とある少女の存在理由」

イラスト：鼎ありす

初版：コミックマーケット 83

九冊目にして色々見直しを試みた一冊です。北to南に編集を、表紙と挿絵は鼎ありす様にお願いました。北to南は売り子やら推敲でかなりお世話になってきましたが、以前からの「佐さん本書けよー」という彼の言葉に「なら編集やってね」で返してこんな態勢になりました。

これまでも設定やプロットは友人達の助言を受けつつ練ってはいましたが、今作は北to南とともに練りに練りまくりました。初期設定では、オリキヤラはアンドロイドにしようなんて話もありましたが、禁書世界ってロボットやサイボーグはともかくアンドロイドがいないので没になってたり。

紆余曲折を経て生まれたオリキヤラの「結城衣」は重力操作系の素質を持っていましたが、以前は無能力者でした。強度を自在に変えられる『幻想飛翼』の被験者となって低能力者となりましたが、それは大きな危険を孕んでいました。そんな彼女と『幻想御手』の元使用者にして無能力者の佐天、そして同じく無能力者の上条との交流を通して、無能力者達なりの頑張りを描きました。

こうすっきりとまとめられるぐらいに、作品でも書ききったつもりです。自分でも納得いく作品にできたので、北to南やご協力いただいた皆さんには本当に感謝です。

植杜衣

